

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	7					作成者	谷 文乃		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 文化芸術の拠点づくり						
	目的		美術館・佐喜知庵の施設管理を行い、施設 の美観を維持し、美術作品（文化財）の展示 をしながら保存も考慮した環境整備を図る。			主たる内容	施設修繕、施設清掃、各種設備機器の日 常・定期点検を通じて施設の適正な維持及び 保守管理を行う。			
	対象者		対象者を限定せず							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
事業期間		S58～		根拠法令	博物館法					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	施設の維持管理、展示環境 の整備		施設の維持管理、展示環境 の整備		施設の維持管理、展示環境 の整備		施設の維持管理、展示環境 の整備			
	成果 (できたこと)		施設、設備等が適切に維持管理ができ、市民に快く利用していただいている。							
	課題 (できなかつたこと)		施設の老朽化							
	指標名称				実績値			目標値		
					20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
	美術館使用料(美術館、研修室、茶室)				2,305,870円	2,476,810円	2,210,400円	1,922,000円	2,400,000円	
ギャラリーの展示室使用申請率				98.3%	98.3%	100%	100%	100%		
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				36,665	36,973				
	事業費		30,667	30,002	29,779	29,741	11 需用費	12,779,600 円		
	特定財源			2,480	2,212	1,946	12 役務費	661,591 円		
	一般財源			27,522	27,567	27,795	13 委託料	14,661,900 円		
	職員人件費				6,886	7,232	14 使用料及び賃借料	1,675,616 円		
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)		合計				
		22年度迄の累積事業費				29,778,707 円				
		24年度以降の事業費見込								

会計名			収蔵品等保存管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	7					作成者	谷 文乃	
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術館収蔵品、借り受けた美術品の適正な保存管理を行い、文化財である美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行う。				主たる内容	美術品動産保険、収蔵庫の燻蒸、収蔵作品の修復、収蔵庫の保存環境測定を行う。		
	対象者	-							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
	事業期間	不明～	根拠法令	博物館法					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	収蔵作品の適正な保存、管理		収蔵作品の適正な保存、管理		収蔵作品の適正な保存、管理		収蔵作品の適正な保存、管理		
	成果 (できたこと)	収蔵作品の適切な保存、管理、補修が図られている。							
	課題 (できなかったこと)	購入、寄贈などによって収集した作品の中には、作品の状態が悪く修復が必要な作品があるため、一定額の予算の確保は必須である。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
収蔵品件数			643件	688件	702件	715件	735件		
修復、保存措置をした作品数			20点	20点	6点	10点	10点		
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				2,493	3,617	12 役務費	82,700 円	
	事業費		3,406	2,914	2,131	3,236	13 委託料	2,048,050 円	
	特定財源			0	0	0	合計	2,130,750 円	
	一般財源			2,914	2,131	3,236			
	職員人件費				362	381			
建設事業	全体事業費		0		備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費		0						
	24年度以降の事業費見込								

会計名			施設整備事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	7					作成者	谷 文乃	
P L A A N 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館及び佐喜知庵の各施設を整備し、来館者に快適な環境を提供する。				主たる内容	美術館及び佐喜知庵の設備の補修を行う。		
	対象者	対象者を限定せず							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
	事業期間	不明～	根拠法令	博物館法					
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	美術館…空調設備修繕、消防用設備修繕、アスベスト調査		美術館…自動扉開閉装置取替修繕、電気ヒーター取替え修繕、空調改修工事、通信システム機器取付工事		美術館の整備…照明器具、外壁、多目的トイレ、植栽、案内板、地上デジタル放送対応工事 佐喜知庵の整備…雨戸、東屋		美術館の整備…空調設備改修、展示室内壁面改修、消防用設備容器弁更新工事、駐車場整備工事他 佐喜知庵の整備…表門及び枝折戸等修繕		
	成果 (できたこと)	美術館及び佐喜知庵の設備補修を計画どおり行うことができ、市民に快く利用していただいている。							
	課題 (できなかったこと)	美術館は建設後27年を経過した建物であるため、新たな美術館運営に対応し、かつ市民ニーズの変化に考慮した施設として、建て替えも含めて検討する必要性を感じている。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
年間入館者数			96,906人	125,575人	84,546人	64,000人	100,000人		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			11,309	90,826	11 需用費	4,363,069 円		
	事業費	1,426	20,836	8,047	87,400	15 工事請負費	3,683,925 円		
	特定財源		0	0	0	合計	8,046,994 円		
	一般財源		20,836	8,047	87,400				
	職員人件費			3,262	3,426				
建設事業	全体事業費			備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			業務管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	8					作成者	谷 文乃	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり					
	目的	当美術館収蔵作品としてふさわしい美術品を選定し、所蔵作品の充実を図り、芸術振興に寄与する。				主たる内容	美術品審査委員会等に係る業務管理を行う。		
	対象者	美術品審査委員会委員、市職員							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
	事業期間	H4～	根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		
	成果 (できたこと)	刈谷市美術品審査委員会により、美術品収集方針に沿った美術作品の収集を行い、美術館運営の発展に努めた。							
	課題 (できなかつたこと)								
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
	審査委員会開催回数			1回	1回	1回	1回	1回	
審査作品数			22件	46件	14件	13件	10件		
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				781	898	8 報償費	53,780 円	
	事業費		597	503	419	517	9 旅費	74,240 円	
	特定財源			0	0	0	13 委託料	291,008 円	
	一般財源			503	419	517	合計	419,028 円	
	職員人件費				362	381			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			業務用備品購入事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	8					作成者	谷 文乃		
P L A A N	事業概要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 文化芸術の拠点づくり						
		目的	展覧会の充実を図るため、備品の整備を行い、美術館利用者の利便性の向上を図る。			主たる内容	展覧会用、美術品管理及び調査用の備品の購入を行う。			
		対象者	対象者を限定せず							
		実施方法	直営	位置づけ	関連計画					
	事業期間	不明～	根拠法令							
B D O	事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
		資料室用移動棚 作業台 移動式監視カメラ		なし		点検用ライトスタンド 展覧会用プロジェクター 展覧会用ベルトスタクション 調査研究活動用一眼レフデ ジタルカメラ 保存環境調査用温湿度ロ ガー 事務室用書籍保管庫 監視カメラ用ハードディスク 展覧会用液晶ディスプレイ		なし		
		成果 (できたこと)	展覧会開催に係る事業用備品の更新及び新規購入を行い、美術館利用者の利便性の向上を図ると共に美術品管理環境の向上ができた。							
		課題 (できなかったこと)	様々な備品の老朽化が進んでいるため、順次更新が必要である。							
		指標名称			実績値			目標値		
					20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
他市との比較検証										
C	事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
		単位：千円			2,436		12 役務費	5,250 円		
		事業費	2,103		2,074		18 備品購入費	2,069,067 円		
		特定財源			1,000		合計	2,074,317 円		
		一般財源			1,074					
		職員人件費			362	0				
建設事業	全体事業費	0		備考(補助名称等)						
	22年度迄の累積事業費	0		教育文化助成金(坂文種報徳会)						
	24年度以降の事業費見込									

<b>会計名</b> 一般会計			<b>一般企画展等実施事業</b>				<b>担当部</b> 生涯学習部	
<b>款</b> 10			<b>項</b> 5			<b>目</b> 8	<b>担当課</b> 美術館	
						<b>課等長名</b> 渡部 高幸		
						<b>作成者</b> 谷 文乃		
P L A A N	<b>第7次総合計画</b>		<b>分野</b> 教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり					
	<b>目的</b>		常設展を開催することにより、地域の人々に、刈谷市美術館収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深めてもらう。 個人呈茶事業を行い、気軽に抹茶をいただく機会を提供し、茶道に親しんでもらう。		<b>主たる内容</b>		特別展示室において、年4回収蔵作品による常設展を行う。 茶室佐喜知庵において、貸切でない日の午後1時から3時まで個人呈茶を行う。	
	<b>対象者</b>		対象者を設定せず					
	<b>実施方法</b>		一部委託	<b>位置づけ</b>	<b>関連計画</b>	刈谷市文化振興基本計画		
	<b>事業期間</b>		不明～		<b>根拠法令</b>	博物館法		
B D O	<b>20年度実績</b>		<b>21年度実績</b>		<b>22年度実績</b>		<b>23年度計画</b>	
	第1期常設展「New Collections」32日 第2期常設展「下村良之介展」48日 第3期常設展「Select展」66日 第25回「衣浦東部美術展」12日 個人呈茶実施日数 222日		第1期常設展「New Collections」32日 第2期常設展「Face」48日 「木村昭平展」38日 個人呈茶実施日数224日		第1期常設展「大正期の洋画」32日 第2期常設展「市川晃展」35日 第3期常設展「New Collections」 第4期常設展「カリヤ美術どうぶつ園」31日 個人呈茶実施日数227日		第1期常設展「New Collections」30日 第2期常設展「上原欽二展」25日 第3期常設展「絵本原画展」35日 第4期常設展「カリヤ美術しよくぶつ園」41日 個人呈茶予定日数170日	
	<b>成果</b> (できたこと)		常設展、個人呈茶事業等の充実がされ、市民の文化振興が図られている。					
	<b>課題</b> (できなかつたこと)		佐喜知庵は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用があるため、施設・設備の日常的な消耗、劣化がある。					
	<b>指標名称</b>			<b>実績値</b>			<b>目標値</b>	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
	入館者数(企画展を除く)			52,938人	52,958人	47,516人	38,000人	60,000人
	個人呈茶人数			3,220人	3,414人	2,904人	2,300人	3,200人
	他市との比較検証							
	C	<b>総事業コスト</b>		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳
単位：千円				4,300	5,241			
事業費		5,285	4,692	2,125	2,957	11 需用費	831,326 円	
特定財源			1,494	1,267	1,084	12 役務費	480,511 円	
一般財源			3,198	858	1,873	13 委託料	813,462 円	
職員人件費				2,175	2,284	合計	2,125,299 円	
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	8					作成者	谷 文乃	
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	平成23年度以降に開催する特別企画展の準備を実施する。			主たる内容	展覧会の出品作品の選定や借用交渉及び額装等を行うとともに、次年度当初に開催する展覧会PR用ポスター作成等の準備を行う。			
	対象者	対象者を限定せず							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
事業期間	不明～	根拠法令	博物館法						
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	次期企画展開催準備		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備		
	成果 (できたこと)	展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要となるため、開催年度前から準備作業を行うことができ、展覧会の充実が図られている。							
	課題 (できなかったこと)	次年度当初の春季企画展のPR用経費について、現行では次年度予算が可決されるまでは春の企画展のPRができないので、次期企画展開催準備事業で予算化を検討したい。							
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
次年春季企画展アンケート満足度(展示内容)			76.9%	80.0%	84.7%	85.0%	85.0%		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				6,004	7,330	9 旅費	572,950 円	
	事業費		3,483	2,743	2,017	2,762	11 需用費	1,138,964 円	
	特定財源			0	0	0	12 役務費	305,397 円	
	一般財源			2,743	2,017	2,762	合計	2,017,311 円	
	職員人件費				3,987	4,568			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	8					作成者	谷 文乃	
P L A A N 事 業 概 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり			主たる内容	企画展関連のワークショップ、夏休み・春休みの子ども向けワークショップを開催し、美術館の教育普及活動を行う。		
	目的	美術館をとりまく環境の変化に対応しつつ、より開かれた美術館への要求に応えるため、美術及び美術館の教育普及活動を行う。							
	対象者	プログラムにより個別に対象年齢を設定している							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
	事業期間	不明～	根拠法令	博物館法					
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	ワークショップ 11種類15回を開催 参加者数 296人		ワークショップ 10種類15回を開催 参加者数 320人		ワークショップ 7種類11回を開催 参加者数 239人		ワークショップ 5種類10回を開催予定 予定参加者数 292人		
	成果 (できたこと)	他機関ではできない美術館ならではの創造プログラムを提供していることから、年々市民に広まり、特に園児・小学生向けプログラムは毎回抽選になるほどの応募が集まっている。幼少期に美術に触れる体験は、その人の将来にわたり影響を及ぼすもので、この市民参加型プログラムにはその役目を担う非常に大きな意義がある。							
	課題 (できなかったこと)	多様なプログラムを提供できるように、複数の講師の人材の確保が課題である。							
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
	参加人数			296人	320人	239人	292人	300人	
開催回数			15回	15回	11回	10回	12回		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				2,524	2,734			
	事業費		993	818	712	831	7 賃金	142,075 円	
	特定財源			0	0	0	8 報償費	519,566 円	
	一般財源			818	712	831	11 需用費	49,599 円	
	職員人件費				1,812	1,903	12 役務費	990 円	
							合計	712,230 円	
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								



会計名			カレル・ゼマン展開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	8					作成者	谷 文乃	
P L A A N 業 業 概 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術への親しみと理解を一層深め、新たな視点を見出し、心の豊かさを育む機会として「チェコ・アニメ もうひとりの巨匠 生誕100年 カレル・ゼマン展 トリック映画の前衛」を開催し、文化の高揚を図る。				主たる内容	チェコアニメーションの創設者として日本でも人気の高いイジー・トゥルンカと並び評された巨匠「カレル・ゼマン」の日本初の本格的な展覧会を開催する。 展示内容としては、遺族が所有する原画やアニメーションに使用した人形、制作過程の資料など約200点を展示する有料企画展。 会期：平成22年4月17日～5月30日（38日間） 会場：刈谷市美術館全館 入場料：有料		
	対象者	対象者を限定せず							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	文化振興基本計画				
	事業期間	H22～H22	根拠法令	芸術文化振興基本法					
B D O 業 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	_____		_____		展覧会開催 入場者数9,063人、 ワークショップ開催、講演会 開催、ギャラリートーク開催、 期間限定カフェ開催		_____		
	成果 (できたこと)	チェコ・アニメの創設者の一人であるカレル・ゼマンの展覧会を日本で初めて開催し、芸術振興に寄与した。来館者には、現在ではあまり観ることのできないカレル・ゼマンの映像作品の鑑賞や撮影に使用した人形等の展示、トリック映像の制作の様子など鑑賞していただき、一般市民から研究者まで非常に満足していただけた。							
	課題 (できなかったこと)	入場料収入が見込みを下回ったこと							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
入場者数			-	-	9,063人	-	-		
入場料収入			-	-	2,921,300円	-	-		
他市との比較検証									
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				18,135				
	事業費				14,511		7 賃金	1,805,090 円	
	特定財源				4,287		8 報償費	166,666 円	
	一般財源				10,224		9 旅費	27,180 円	
	職員人件費				3,624		11 需用費	1,812,455 円	
建設事業	全体事業費		0	備考（補助名称等）		12 役務費	745,225 円		
	22年度迄の累積事業費		0			13 委託料	3,339,229 円		
	24年度以降の事業費見込					19 負担金、補助及び 交付金	6,615,000 円		
						合計	14,510,845 円		

会計名			日本画展開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	8					作成者	谷 文乃	
P L A A N 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術への親しみと理解を一層深め、新たな視点を見出し、心の豊かさを育む機会として「自然を愛した日本画家の饗宴 川合玉堂＋現代日本画展」を開催し、文化の高揚を図る。				主たる内容	刈谷市美術館が所蔵する現代日本画10点と、その画家らに影響を与えた川合玉堂の日本画6点を展示。 会期：平成22年7月18日～8月29日（37日間） 会場：特別展示室・第1展示室 入場料：無料		
	対象者	対象を限定せず							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
事業期間	H22～H22		根拠法令	芸術文化振興基本法					
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	――		――		展覧会開催 入場者数 11,001人		――		
	成果 (できたこと)	刈谷市美術館収蔵の日本画の展示とともに、一宮市博物館の協力を得て近代日本画家の巨匠・川合玉堂の作品を展示し、企画展の充実を図った。人気が高い河合玉堂の作品を、無料で鑑賞する機会を提供し、芸術振興に寄与した。							
	課題 (できなかったこと)	経費の都合から出品作品を一宮市所蔵作品のみとしたため、充実した展示内容にすることができなかった。							
指標名称			実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
入場者数			――	――	11,001人	――	――		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			4,401		7 賃金	254,560 円		
	事業費			2,226		9 旅費	1,140 円		
	特定財源			0		11 需用費	356,484 円		
	一般財源			2,226		12 役務費	188,703 円		
	職員人件費			2,175		13 委託料	1,424,690 円		
建設事業	全体事業費	0		備考（補助名称等）		合計	2,225,577 円		
	22年度迄の累積事業費	0							
	24年度以降の事業費見込								

会計名			宇野亜喜良展開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	8					作成者	谷 文乃	
P L A A N 事 業 概 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術への親しみと理解を一層深め、新たな視点を見出し、心の豊かさを育む機会として「宇野亜喜良展」を開催し、文化の高揚を図る。			主たる内容	戦後日本を代表するグラフィックデザイナーである宇野亜喜良(1934年-/名古屋生まれ)の本格的な展覧会を開催。 会期：平成22年9月18日～11月3日(39日間) 会場：刈谷市美術館全館 入場料：有料			
	対象者	対象者を限定せず							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
	事業期間	H22～H22	根拠法令	芸術文化振興基本法					
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	――		――		展覧会開催 入場者数9,905人 ワークショップ開催、講演会 開催、ギャラリートーク開催、 期間限定カフェ開催		――		
	成果 (できたこと)	宇野亜喜良の初の回顧展を刈谷市で開催することで、芸術振興に寄与した。出品点数が多く、開催までの準備作業に時間を要したが、作家が現役で活躍中ということもあり、熱心なファンも多く、図録は会期中に完売してしまった。来館者は全国から訪れ、非常に満足していただくとともに刈谷市のPRも図れた。							
	課題 (できなかったこと)	当美術館で企画した展覧会の他美術館への巡回							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
入館者数			――	――	9,905人	――	――		
入場料収入			――	――	4,127,900円	――	――		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			23,748		7 賃金	2,094,345 円		
	事業費			19,399		8 報償費	765,000 円		
	特定財源			13,762		9 旅費	555,720 円		
	一般財源			5,637		11 需用費	5,537,184 円		
職員人件費			4,349		12 役務費	1,752,577 円			
						13 委託料	8,694,476 円		
						合計	19,399,302 円		
建設事業	全体事業費	0		備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費	0		芸術文化振興基金					
	24年度以降の事業費見込								

会計名			美術品等購入基金積立事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	8	作成者	谷 文乃						
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術品等購入のための基金へ積立を行う				主たる内容	美術品等購入基金積立金			
	対象者	対象者を設定せず								
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画					
	事業期間	H1～	根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例						
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	運用金収入を基金に積立 2,857,808円		運用金収入を基金に積立 2,874,315円		運用金収入を基金に積立 1,470,000円		運用金収入を基金に積立 868,000円			
	成果 (できたこと)	美術品等購入基金の利子を積み立てることで確実に基金を増やすことができる。								
	課題 (できなかったこと)	経済状況の悪化に伴う預金利率の低下。								
	指標名称				実績値			目標値		
					20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
	定期預金の利率				0.5%	0.5%	0.3%	0.18%	-	
運用収入金				2,857,808円	2,874,315円	1,470,000円	868,000円	-		
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				1,470	868	25 積立金		1,470,000 円	
	事業費		2,858	2,874	1,470	868	合計		1,470,000 円	
	特定財源			2,874	1,470	868				
	一般財源			0	0	0				
	職員人件費				0	0				
建設事業	全体事業費		0		備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費		0							
	24年度以降の事業費見込									